

第192回

番組審議会議事録

平成22年5月11日

岩手めんこいテレビ



第192回 番組審議会

1. 日 時 平成22年5月11日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 13名  
出席委員数 9名 (欠席委員数 4名)

○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)  
椎井 一意 (副委員長)  
—以下50音順—  
齋藤 雅博  
東海林 千秋  
中川 真  
中原 祥皓  
村上 幸子  
八木橋 伸之  
吉田 浩次

○ 会社側出席者 (5名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)  
藤澤 利憲 (常務取締役)  
前田 秀男 (取締役編成技術局長)  
君沢 温 (報道局報道部長)  
野牛 あかね (報道局報道部員)

○ 事務局 村田 重昭

#### 4. 議 題 「mit スーパーニュース」 ローカル部分

平成22年4月13日(火) 18:17~18:55 放送

#### 5. 議 事 概 要

今回は4月13日に放送した「mit スーパーニュース」のローカル部分について審議しました。出席した委員からは「身近に感じられる良質なニュースを伝えている」「雄星君の特集は、視聴者が知りたい情報を分かりやすく伝えていた」「子ども手当てのニュースは制度の説明が大変わかりやすかった」などの意見がありました。

また、一方で、「新しく入った気象予報士の吉田さんは聞きやすくとてもいいが、紫外線、洗濯などの情報量が他局に比べてまだ少ない」「結婚式場の破産のニュースなどは、業界の背景などについても取り上げてほしかった」「他局との違いを出すためにキャスターにもっと個性のあるコメントがほしい」などの意見がありました。

#### 6. 議事

##### ○事務局

それでは、ただいまより第192回番組審議会を開催致します。本日ご欠席の委員は、久慈委員・斎藤純委員・菅原委員・役重委員の4人です。他に当社専務の小原が欠席となっております。

今回の議題は、4月13日に放送した「mit スーパーニュース」のローカル部分です。本日は、君沢報道部長と新キャスターの野牛アナウンサーが出席しております。

それでは、中村委員長よろしく願いいたします。

##### ○中村委員長

では、議事に入ります。

君沢さんと野牛さんから、今回の番組の背景や感想などについて説明をお願いします。

##### ○君沢部長

実は3年ほど前にmit スーパーニュースを番組審議会で審議いただきました。それ以来の審議ということになります。まず番組制作の意図と報道部の現在の状況について説明させて

いただきます。現在、報道部で働いている人数は記者、カメラマン、アナウンサー、映像編集者、スーパーやテロップを流す人間を含めて33名です。この人数には局長や私のような管理職は入っていません。デスク以下33名となります。これはどのような数字かといいますと、NHKを除く民放4局の中では、今年の3月時点で一番少ない人数となります。各局とも、経営的な問題もありまして、ここ数年、報道現場でも人数が減ってきています。当社も少ない人数で報道するという状況は、今のところ変わっていません。その少ない人数で、昼のニュース、主戦場となる夕方のニュース、夜8時55分のショートニュースの3つのニュース枠を、ローカルニュースで差し替える形で報道しています。

テレビですので、視聴率が分かりやすい尺度として使われます。ニュースの番組の視聴率は昨年度の平均で9.1パーセントでした。これは岩手の民放4社の中で3位です。1位はテレビ岩手さん。2位はIBC岩手放送さん。めんこいテレビ。岩手朝日テレビさんという順位になっています。この結果にいろいろな原因はありますが、視聴者の厳しい声として受け止めて、少しでも見ていただけるように頑張っています。

きょうご審議いただきますmi1スーパーニュースについては、4月以降、いろいろな改革を行いました。まず、キャスターの変更をしました。現在、月曜日から木曜日は高橋裕二と野牛がキャスターを務めています。実は高橋はここ10年、ずっと夕方のキャスターをしていますが、この4月から野牛を夕方のメインキャスターに抜擢しました。千葉絢子というアナウンサーがキャスターでしたが、産休に入ることもあって野牛と交代になりました。金曜日の男性キャスターは、5年目の玉井というアナウンサーがやっていたが、昨年入社した2年目の新人の工藤淳之介を抜擢して、入社12年目で昨年から金曜のキャスターを務めている坂口アナウンサーと組み合わせました。キャスターも大きく変更して「変わるぞ」という意図を伝えるつもりで人選をしました。

また天気コーナーに関して、盛岡出身の気象予報士の女性と契約して、今までなかった作りで天気予報を充実させました。その他にも曜日毎のコーナー企画の改革を行いました。

ただ1点変わらないのは火曜日の「夢、勇気、感動」というコーナーです。今回、ご審議いただくニュースもこのコーナーを含めたラインナップです。

閉塞的な社会状況の中でもとにかく元気を伝えていこう、感動を伝えていこう。それが俺たちの使命だということを忘れないために、年度を通した一番のテーマを決めてニュースを作っています。分かりやすく、温かく、そして、岩手の人を伝えていこうというのが私たちの報道のテーマです。

新キャスターの野牛からは4月以降の感想などを、お話をさせていただきます。野牛は花巻東高校の雄星君をずっと取材しておりまして、雄星番として全国的にも知られています。

#### ○野牛アナウンサー

今年度からニュースキャスターを務めています野牛あかねです。アナウンサーとしては4年目になりました。番組審議会は昨年の花巻東高校野球部の特番に続いて2回目です。

キャスターとしてまだまだ喃んだり、とちったりしています。その中でも視聴者に伝える気持ちをもって読む事を、今一番心がけています。昨日まで福岡に取材に行っていました。キャスターとしても読むだけではなく、自分も外に出て自分の感じた事をその場で伝えられたらと思います。そして記者の時と変わらずどんどん外に出て行きたいと思います。まだ一ヶ月と緊張が抜け切らないのですが、毎日毎日、何かひとつでも目的意識をもって一段一段登っていったらいいなと思っています。

#### ○中村委員長

中川委員をお願いします。

#### ○中川委員

おそらく今日の委員の中では私が一番ニュースを見ていると思います。仕事柄、リモコンを片手に15秒おきに各局を見比べながら、きょうは私の知らないニュースにどんなことがあったのかという見方をしています。実はじっくり最初から最後までニュースの映像を見させてもらうことがなかったので、いい経験をさせてもらいました。

めんこいテレビの記者やキャスターの方と現場で会うことがあります。先ほど部長からお話がありましたが、人数の関係もあると思いますが、昼の取材をした後、キャスターとして夕方スタジオで話すというケースがけっこうあるようです。それは僕は逆にとてもいいことだと思います。自分の見たもの、感じたものを伝えたいということが野牛さんからありました。私は他の局のことはわかりませんが、ご自分で取材をされて、その原稿を本人がニュースで読むことによって、めんこいテレビではそうした理想形が作りやすい環境にあるのではないかと思います。

そうは言っても、ニュース番組なのであまりご自身の意見をストレートに言うことはできないのかもしれませんが。そのあたりでキャスターのコメントを増やされるといいのかなと思

いました。

今回のニュースの内容について言わせていただくと、典型的な何も事件のなかった日のニュース作りをどうするか、ということだったと思います。一関の結婚式場の倒産の話が一番最初にもってきた局もあったと記憶しています。リンク栃木レックスの川村選手とか雄星投手のようなスポーツ選手にスポットを当てて特徴を出されたのだと思います。特に雄星君のインタビューは野牛さんではなく、工藤アナで一瞬大丈夫かなと思いましたが、本音を聞けていたのではないかと思います。ただ、本の紹介では、あれは彼に薦めても「なるほど」と言うコメントしか出てこないような感じがするので、むしろ最近読んだ本の話しを聞かれた方が面白かったと思いました。

いずれにしてもニュースの特徴を出そうという意思が、見る側にも伝わってきました。そうした番組作りには好感をもっています。

#### ○中村委員長

八木橋委員お願いします。

#### ○八木橋委員

全体としてニュースの番組なので良いとも、悪いともコメントがしにくかったです。論点を絞ると夕方6時台のニュースは誰が見ているのかということでしょう。ターゲットは誰なのか？ここにいらっしゃる方の中では、平日の午後6時台は会社にいるか、仕事場にいると思うので、たぶん見ていないと思います。そうすると誰が見ているのか。見ている人のターゲットを絞って流す番組としてどうなのか？ということだと思います。

4月に改革されたということでしたが、これからも試行錯誤されるのだろうと思います。ニュースの型としては、項目をたくさん並べて、網羅的にニュースを出していくタイプと、ある程度取り上げて解説やらコメントしていくタイプと、いろいろなタイプがあると思います。夕方6時半以降はどちらのタイプがいいのか。私もどちらがいいとは言えません。一緒に考えながら研究していくしかないと思います。

「夢・勇気・感動」のコーナーの温かさは伝わってきましたが、雄星君が有名過ぎて、いつもみんな同じことを聞いているように思います。どれを見ても同じという感じがしないわけでもありません。何かないものなのか？本を紹介していましたが、あんな難しい本、マニアックな本を出して好きか嫌いかと聞いても、ちょっと難しいところがあると思います。そ

という意味で、「夢・勇気・感動」のコーナーは面白いけれども、他局とどこが違うのか。失礼だけど「彼女がいるか」のような話しから入るとか、切り口を変えてみるとか。そういうのもひとつの方法だという気がします。そのままでは、テレビで流せる部分と流せない部分があると思うので、最後は編集でカバーするにしても、何かちょっと違う部分を出していたらという感じがしました。

子ども手当の問題は非常に分かりやすかったですね。何月何日までに申請してとか、9月過ぎたらもう駄目とか。あそこまでやるなら、他のニュースもその位詳しくやってもいいような気がします。その辺の取り上げ方をどのような基準でやっているのでしょうか。全国版で子ども手当が問題になっていると報道されましたが、それが岩手の場合、どんな形になるのかがよく分かりました。分かりましたが、他のニュースとのバランスで、啄木の九九回忌はあそこまで取り上げる必要はあるのか？好きな人は好きでいいのですが、子ども手当の全国的な問題に比べると、それほど詳しくやる必要はなかったように思います。

いずれ人間の生活スタイルがどんどん変わってきていますから、夕方6時半から7時の間はどんな人が見ているのだろうかとか、その時代、その時代で考えていかななくてはならない問題だと思います。4月に変えたばかりということなので、これからもまた何年かおきに試行錯誤をしながら変えていくということで、よろしいと思います。

#### ○中村委員長

齋藤雅博委員をお願いします。

#### ○齋藤雅博委員

先ほど、報道部長からお話がありましたように、確か3年ほど前にもこのmitスーパーニュースを題材にした記憶があります。今回も我々が身近に感じられるような良質なニュースを提供しているという印象をもちました。

今回は火曜日のニュースということで、コーナーの「夢、勇気、感動」の雄星君とバスケットの川村選手のニュースが重なりました。そのためスポーツに関する時間が長かったように感じましたが、リンク栃木レックスの優勝はその時のニュースですので、やむをえないと思います。それにしても川村選手の活躍は素晴らしいものがありました。延長戦に導いたスリーポイントショットや、会見でのコメント、優勝を喜び合う姿を映像化していて、郷土のスター選手の活躍ぶりがよく伝わってきました。



雄星君については、なかなか一軍に出てこないのですが、我々が知りたいと思っている情報を的確に伝えてくれたと思っています。2軍で苦勞していないのか？とか、うまくチームメイトとやっているのか？など、おそらく誰もが心配していたようなことが、このニュースを見ることによって随分解消したという思いで見えていました。本人は相変わらず意思がしっかりしていましたが、明るく元気そうなのでほっとしたというのが実感です。

今回改革されたお天気情報のコーナーですが、気象予報士の吉田さんは非常にいいと思って見えていました。前回審議した3年前のお天気情報と比べて、だいぶ改善されたのではないかと思います。ただ情報量は他局に比べると劣っています。例えば他局は花粉情報とか、今の時期ですと紫外線情報、洗濯情報も合わせて出していて、うちの家内などもけっこう見えています。気温の1日の推移なども他局は出しています。けして情報量が多ければいいわけではないのですが、視聴者の関心が高いと思われるような情報はしっかり提供していただきたいと思います。

全体としては非常に見やすく、テレビニュースの特色である映像の力を感じましたし、的確な映像を放送していたように思いました。今後も現場主義を貫いて欲しいと思います。

今回は特に雄星君や川村選手のように、岩手にゆかりの人がよく出たわけですが、県民の関心事を放送することによって視聴者の心が豊かになることが、ローカルニュースの効用だと思います。そうした意味でも今回の内容は非常に評価できるものではないかと思いました。

#### ○中村委員長

中原委員お願いします。

#### ○中原委員

正直言いますと、もう少し長い時間ローカルニュースをやってくれていると思っていたら、案外ぱつと終わってしまって、さて何を探そうかと思いました。私は普段、NHKを入れて県内5局の夕方の6時台のニュースは、岩手日報のラジオ・テレビ欄の内容を見比べています。各社、順番も内容も違いますが、新聞のラ・テ欄に載っているアピール度も参考にしながら、その日のニュースを自分なりに考えながら見えています。

この日のニュースで、私にとって一番の関心があったのは何だろうと考えてみると、子ども手当だと思います。そして、もうひとつは高校生の無償化の問題です。時期的には、これらのニュースに非常に関心を持った時でした。それに付随するいろいろな問題、朝鮮学校

がそうですが、岩手の場合は第一高等学院盛岡校にこうした問題があります。こうした意味で、この日のニュースはこの2つから入るのだろうと期待していましたが、バスケットの川村君から入りました。川村君の活躍は明るいニュースで、それはそれでいいと思いますが、一番の関心事は何かというと、子ども手当や高校の無償化問題であるわけです。さすがに各局は、岩手でのそれらの問題はどうかということで、どの局も集中して取り上げていたと思います。したがって川村君のニュースはせっかく明るいニュースだったけれども、この2つのニュースが終わった後、すっかり私としては忘れてしまっていました。バスケットは私は好きです。その後に出てきた啄木のことなどありましたが、雄星君の「夢・勇気、感動」これ自体はいいと思います。この前のあたりに川村君をもってくれば、別の印象となって岩手県民がそれぞれのスポーツで頑張っているという印象が強くなったと思います。

野牛さんは雄星番ということでしたが、雄星君は非常にインタビューがしやすいと思います。答えが明確に返ってきます。この日は男性のアナウンサーが聞いていましたが、非常にいいやりとりがありました。スポーツコーナーとして、くくるわけにはいかないでしょうけれど、順番とすれば社会的なニュースを出した後に、スポーツをもってくれば、スポーツにも力を入れているめんこいテレビだな、という印象を与えることができたのではないかと思います。

私は6時のニュースは1日の締めくくりの意味で毎日見えています。幸いチャンネルを変えられるので、どの局もよく見えています。この日は川村君や雄星君のスポーツの話題もありましたので、めんこいテレビを全部見たと思います。総合ニュースというとらえ方をすると、もう少し社会的な部分に力を入れてほしいと思います。総体的には、スポーツはスポーツニュースとして組み入れてほしいと思います。特にこの日のニュース項目は、子ども手当や高校の無償化問題などの教育問題でくれます。教育問題は、本人はもちろん家族、親戚といった幅広い視聴者がいます。教育について関心があるめんこいテレビだということであれば、直接ではなくとも教育面に關わる話題であれば、どんどん取り上げてほしいと思いました。

ダイヤモンドパレスが破綻したというニュースですが、県内ではこの類のニュースは過剰気味です。一方で盛南地区にあるイオンショッピングセンターの近くに新しい結婚式場が出来ました。めんこいテレビでしたか？先日その式場の内部をテレビで紹介していました。そうした話題が頭にあったものですから、一関の結婚式場の破綻は大きなニュースですが、なぜだ？という背景があまり解説されていなかったように感じました。いわゆる乱立なのでし

ようか？生協も冠婚葬祭事業に進出し、既存のホテルなどもある中で、新しいものも出来るという状況も含めて、その背景をもうちょっとコメントしていただけると、良かったと思います。ただの倒産ではなくて、その陰に新しい式場が出来ていることを報道することによって、既存のホテルや倒産した式場を含めて業界は大変だという背景を、もう少し紹介してくれるとまた別な味わいが出てくると思いました。

#### ○中村委員長

さすが報道の世界に居た方は見方が厳しいと感じました。

それでは村上委員お願いします。

#### ○村上委員

野牛さんはデビュー1ヶ月ということでお疲れさまです。まだ緊張されているということでしたが、高橋裕二さんと野牛あかねさんというフレッシュな顔ぶれは新鮮に感じられました。千葉絢子さんはきりっとした感じでしたが、野牛さんはほわっとした明るい感じというのが、お2人のツーショットの印象です。

あまり誉められたことではないのですが、夕方の6時台は私の職場も仕事が佳境に入っていて、なかなかニュースを見る事がありません。今回は夕食の時間帯の番組として見たのですが、全体的にとってもいい印象のニュース番組でした。

バスケットボールの試合では、リンク栃木レックスの川村選手があそこまでエースだということは知らずに見ていました。スリーポイントショットがズバズバと決まった時はすごいと思いました。ボールがリングに触れてずばっと入る瞬間は、テレビならではの映像でした。チームメイトに田臥選手がいることは、私は勉強不足で知りませんでした。小柄な田臥選手と川村選手の2人のエースでやっているチームだというのが身近に感じられました。これもテレビ番組ならではの見せ方だなと思いました。

続けて子ども手当と高校の無償化のニュースになりましたが、この二つはセットで考えられる内容なので、非常に良かったと思います。とくに子供手当は県内で19万4千人の対象者というのは多いか少ないのかわかりませんが、そういう規模なのだという事と申請の方法も表とナレーションで分かりやすく説明していました。新聞とか紙の媒体が表とか文字だけで表現しても分かり辛い部分について、要点をナレーションで補足してもらえるのは非常に分かりやすい説明の方法だと改めて感じました。5月21日までに手続きをすると、一回

目に間に合いますよと、お母さんにとっては「なるほど」と思えるところを取り上げてもらったのは良かったと思います。高校の無償化も「こういう場合はこうだ」などと補足をしていただいていたよかったです。

お天気のコナーの吉田さんは気象予報士ということですが、4局の中で気象予報士の方がお天気コナーを作っているのは、めんこいテレビだけですよね。今後もっとそうした付加価値を出していければいいと思います。吉田さんの声が非常に聞きやすく、とてもいい感じのナレーションだったと思います。吉田さんにはこれからもっと個性を出していただきたいですし、天気情報がひとつの看板コナーになることを期待したいと思います。

「夢・勇気・感動」のコナーでは、雄星君も頑張っていることが映像を通じて伝わってきました。先輩の噛んだガムを持たされてランニングしていましたが、ちょっと荒っぽいプロの世界を垣間見れるおもしろい映像でした。工藤淳之介アナウンサーとは年齢も近いので、いつもよりリラックスした感じでした。プロになっても、いつもの雄星君という感じで、非常に頑張っているというのが伝わってきたと思います。

野牛さんは、まだ1ヵ月でやっと周りが見えてきたという感じだと思います。これから、もっと個性が出てくると思いますので期待しています。

#### ○中村委員長

東海林委員お願いします。

#### ○東海林委員

私も勤務時間が6時までなので、普段は見たくても mit スーパーニュースを見ることができません。天気予報のコナーのあたりで家に帰っています。そういうわけで普段はあまりニュースを見た事はありません。天気予報については前の番組審議会では、委員の方々がクラシックの曲で天気予報は違和感があるとおっしゃったにも関わらず、ずっとクラシックだったんです。今回、天気予報のコナーがリニューアルになって、クラシックではなくなったことは、私にとって驚きで、そんな気持ちで今回のニュースを拝見させていただきました。

この審議会のメンバーは、通常は夕方のニュースを見る時間に帰っていない視聴者だとすると、mit スーパーニュースを見る視聴者はご飯の支度をしながら見ている方とか、普段お家にいらっしゃる方々で、その方々がターゲットであるならば、やはりクラシックがBGMの天気予報は違和感のある年代なのか？それとも受け入れられる年代か？ちょっと考えなが

ら見ていました。

普段は夕方6時のニュースを見られない私ですが、自分や自分に関わることを取材していただいた時には、すぐに自宅に帰って時間差で各社全部のチャンネルを変えながら、見比べることがあります。取材される側には、本当はこういうことを伝えたかったという部分があります。その点について、4つのローカル局に取材された時の客観的な感想をお話します。非常に厳しいことを言いますと、こちら側が意図することを伝えてくれたと思えたのは、実は一度ならずテレビ岩手さんでした。もちろんどの局の記者の方も丁寧に取材してくれていましたが、結果はそういうことでした。取材される側と取材する側を、私はどちらも経験したことがあります。最初から先入観があって取材に行ってしまうと、どんなに相手が話していても、自分の先入観でコメントをまとめてしまうところがあります。

mit スーパーニュースの視聴率が3位と聞きましたが、1位になるためには通常見ていらっしゃる視聴者の方の意識を「やっぱりめんこいテレビの方が面白いかも」と思っていたら、きっかけがないと、いつもある程度惰性でチャンネルを合わせることになると思います。チャンネルを合わせてもらうにはきっかけが必要です。私にとっては、自分のことを取材していただいた時のニュースを、実際に見比べたことがきっかけだったと思います。客観的にこちらの意図することをまとめてくれていたのが、残念ながらめんこいテレビではなかったことで、それ以来めんこいテレビよりもテレビ岩手にチャンネルを合わせる事が多くなったと、改めて思いました。普段はめんこいテレビを見ていない視聴者であれば、だからこそ、そうしたきっかけの時は、チャンネルを合わせてもらうチャンスなのだと思います。

今回の気象予報士のことについてですが、今が本当にめんこいテレビが「変わった」ということを知らせるチャンスだと思います。ぜひ1位になれるように、私も家にいる時はmit スーパーニュースを見たいと思いますので、いつも客観的な気持ちで取材していただけたらと思います。期待しています。

#### ○中村委員長

吉田委員をお願いします。

#### ○吉田委員

ニュース番組に対するコメントはし難いということがあります。夕方の時間帯はなかなか見る機会がありません。たまたま休みの時にこの時間帯でニュースを見る時を思い出します

と、「きょうは一体どんなニュースなのだろう」ということで、各局をちょこちょこ見たりしています。また、天気予報を見たりするのが普通のパターンだと思います。

私は毎日、新聞の隅から隅まで目を通した後、一番最後に番組欄に目を通して、ニュースに取り上げられている題材が各局どのようなものかと確認しています。その他、取材があつた時とか興味があるものがどこの局で取り上げられているのかということで、あれを見ようか、これを見ようかというようにしています。大体民放4局についてはニュースの番組の見やすさ、聞きやすさを比較した場合にはそんなに差がないと思って見ていました。

何年か前の番組審議会で、確かmit スーパーニュースの視聴率は2位ぐらいにいたのではなないかと思っています。その時は1位を目指すべきだと言ったような記憶があります。今回は3位ということで、残念ながら順位が落ちてしまったわけです。そういう状況の中で感じたのは、テレビ岩手の「5きげんテレビ」はけっこう人気が高いようです。そうしますと、「5きげんテレビ」を見てそのままニュースにいきます。おのずとテレビ岩手のニュースが1位というのも、分からなくもないということがこれで分かりました。

今回ニュースというものを批評するにあたり、私なりに感じたことは好き嫌いは別にして、やはり出てくるアナウンサーの存在感は大きいですね。アナウンサーの持つ爽やかさ、明るさ、謙虚さとかあるわけですが、いずれにしてもその存在は非常に大きいと思います。これからはいろいろな意味で視聴率を上げなくてはならない、もっともっと見てもらいたいという意味を含めて、アナウンサーの役割はますます大きいということ、改めてこの場で言っておきたかったというのがひとつです。

今回はさまざまなニュース、スポーツ、子ども手当、石川啄木のことなどを見ておりました、見やすかったと思いました。気になったことは、アナウンサーが画面に出ている時に、原稿に目をやっていることで、あまり好ましくないと思います。今回は厳しい点で言うところちょっと原稿を見ている時間が多かったなと私なりに感じました。

仕事の関係で県外に行った時に夕方、その地域のローカルニュースに目をやった時に、それぞれの地域の良さ、地方色を感じます。アナウンサー、キャスターの言葉の中に「思い」が伝わってきます。その方の考え方がはっきり出ている。そのようなことが聞いていて心にじんときてくるわけです。人間というのは不思議なもので、ただ原稿を読んでいるのと、その人の感じたままの気持ちが伝わってくるのとでは、大きな違いがあると思います。そのようなことがこれからは大事だと思います。これからも今の姿勢でよろしいと思いますので、ますますニュースについては頑張ってもらいたいと思います。

○中村委員長

椎井副委員長をお願いします。

○椎井副委員長

私もニュース番組を批評するのは大変難しいと感じました。一番大きな理由はみんな、どの局も中味は同じだということです。視聴率が第3位という話がありましたが、これは番組を選んでいるのではなく、前の番組からそのままずっと見ているからでしょう。だから3位ということで、番組そのものが悪いということではないので、そんなに落胆することではないと思いました。

ニュース番組は情報を客観的に正しく早く伝えることが第一位で、速報性、正確性、公平性が問われるわけで、新聞と違って速報性と映像によるリアリティが特徴だと思っています。テレビで概要を見て、私もその後、詳しく知りたいと思うと翌日の新聞でフォローするタイプです。その点からすれば他の番組と差別化するのは、客観性、速報性、正確性などからもなかなか難しいのかと思います。番組の中で特集コーナーがありますが、これが唯一、特色を出し差別化できる部分ではないかと思っています。めんこいテレビは毎日、月曜日から金曜日まで異なる切り口を設定して取材している、創意工夫をしている努力の跡がうかがえます。特集コーナーは局の報道姿勢や情報感覚、局の取材力が問われるのではないかと思います。新聞の番組欄で必ず載っているのは、特集コーナーで大きくアピールされています。よくニュースを見ている人で、この時間帯のニュースのどれを見るか選ぶ人は、その特集の違いによって、これを見てみたいということ判断するのだと思います。したがって特集のコーナーは非常に重要だと思いましたので、ますます深掘りするなり、話題性のあるテーマを取り上げたりして、充実させていってほしいと思います。

気付いた点ですが、ニュースの情報源はローカルの場合は各記者クラブがあって、記者クラブにおけるいろいろな団体の発表内容とか売り込みもあると思います。そうしたものが中心になるのだと思います。だからみんな同じ中味になるのだと思っています。それぞれ局のこれまでの取材活動のストック、そこは取材力が問われるのではないかと思います。これまで通常の取材で積み重ねた情報のストックが豊富かどうかによって、記者クラブや売り込みのニュースだけではなく、いわゆる受身の報道だけではなく、蓄積によって積極的に自ら記者が足で稼いでいくことが出来ると思います。限られた人間の中で取材力をといても難しいかもしれませんが、その辺は局の特徴ということで頑張してほしいと思います。

テレビには娯楽番組とか報道番組があるわけですが、視聴率ということで考えると、娯楽番組の方にウエイトがかかる傾向はなきにしもあらずなのではないかと思います。なぜそういう風に考えるのかというと、報道番組では視聴率の差がでないと私自身が感じているからです。これからも頑張ってください。

#### ○中村委員長

皆さんが仰ったように、このニュースを見て、何を批評すればいいのだろう？ニュース番組を審議するというのはどういうことか？と思っておりましたが、皆さんのお話をうかがって「なるほど」と思いました。それぞれの委員の方々の特徴あるご批評をうかがいまして、私なりに一言、二言、いくつか述べさせていただきます。

私もこの時間、リモコンを動かしてあちこちを見えています。たまたまこの日のニュースは実際の放送を見ておりました。冒頭に川村選手が出てきて気がつき、その後に雄星君が出てきて思い出しました。

このふたつのニュースは思い出しましたが、他のニュースは全然、思い出せませんでした。川村選手については、私もバスケット関係のことをやっているため、非常に興味を持っておりました。素晴らしい選手が岩手からも出たと思って見ましたが、残念ながらリンク栃木レックスはおらがチームではないんです。ですから彼自身は素晴らしいのですが、全体的な感動が今ひとつ描けていないなという感じがしました。3点シュートで同点になり、その後逆転という展開で、おらがチームにとっては、会場は割れんばかりの感動なのです。なかなかそれが伝わってきませんでした。川村君を出稼ぎに出している側の寂しさを逆に感じました。

あのような選手が岩手にいて、岩手のチームとして、かなり優勝を競るような状況になったら、大変おもしろいのかなと思いました。同様なことを雄星君にも感じました。結局、おらがチームがない岩手の寂しさを痛感しました。仙台にいと全部いろいろあって、自分のところの出身ではなくても、いつの間にか仲間として応援してしまいます。せっかくローカルニュースを見ていても、感動がなく寂しい感じが出ていたのが残念でした。

雄星君に関しては、この頃はいろいろな局で取り上げていました。もう少しそっとしてやればいいのにと思いました。私はいつも、教育は忍耐だと言っています。育てるまではじっと少し見てやってあげた方がいいのです。ある程度、結果が出てきたならば大々的に取り上げてやる。ちょっと困っている時はそっとサポートしてやる。そうした支え方をしてやった方がいいのではないかと思います。マスコミはせっかちですから、すぐに取り上げてワアワ



アというのが目につきます。

この番組は特にそういうことではないのですが、当時は取り上げ過ぎという印象がありました。ぜひこういう話題を取り上げた時も、一時的に雄星君、雄星君と言わないで時々支える形で取り上げていただきたいと思います。

もうひとつは、天気予報は見やすく良かったと思います。天気予報だけではないのですが、この時はたまたま春子谷地のミズバショウが咲きましたという大変いい映像を出していただきました。咲きましたというだけで、我々は「どこにあるの」という場所がわかりません。滝沢村といっても広いです。どのように行けばいいのか、ちょっと言っていただくと「今度、行ってみよう」ということになります。

同じようなことがグルメ情報や温泉情報にもあります。チャンネルを回しているとたまたま途中から見る事があります。最後、どこだったか何も言ってくれません。最後にもう一度、確認する意味で、場所を「こう行けばいいですよ」ということを言っていただければ、助かります。ローカル番組ではそういうところが大事だと思います。ニュースはキー局を見ていた流れで見えています。地方のニュースは、大きく目を開いて見るようなものはそう多くありませんが、私は地方の情報を大事にして見えています。特に主婦の場合はそうだと思います。そうした丁寧な取り上げ方をしていただくとありがたいと感じました。先ほど、中原委員が言われたようにニュースの並べ方が雑多です。CMや中央のニュースを抜いて見ると、ただ雑多に並んでいるという感じがしました。これはこれでいいのかどうか？ご検討をいただきたいと思います。

野牛さんは、キャスターは初めてだとお聞きしました。テレビは報道番組を中心にしている事が多いのですが、NHKの女子アナですら、アクセント、イントネーション、関西系の人は、子音をはっきり言う発声が時々非常に気になります。野牛さんはそれがなくて非常に抵抗感なくて聞いていました。上手なアナウンサーだないつも思っていました。もうそろそろ慣れてきたと思うので、もう少し個性を発揮してもいいのではと思います。言いたい事をもっと言う。この番組をしょって立つぐらいのコメントを出していただいて、mit スーパーニュースは野牛さんがひとつの特徴、色を付けているというようにやってもらった方が、チャンネルを回して彼女を見たいというファンも増えてくると思います。本当はこのニュース番組については何も申し上げることはないのですが、感想とさせていただきます。他に何かご意見はありますか？

○中原委員

啄木のところで出ていたコーラスグループの名前を入れてあげると良かったと思います。

○八木橋委員

お天気情報で、沿岸向けに風や海水温などの情報を入れてみてはどうでしょうか？漁業関係者や釣り人が喜ぶと思います。他局にない情報なので検討してみてください。

○中村委員長

中原委員、ありがとうございます。

それでは、欠席委員からのレポートがあれば事務局から報告をお願いします。

○事務局

久慈委員からのレポートです。

夕方のニュースは各局趣向をこらして制作をしており、めんこいテレビもめんこいテレビらしさを追求しながらホットな話題を提供していかなければいけないのでしょうか。今回も雄星投手にスポットをあててインタビューをしたりしていました。雄星投手にはぜひ頑張ってもらいたいところです。

全体的には岩手の情報を満載に届けており、特集も考えられていると思いました。

ただ、1つ前と変わったな、と思ったのは天気予報の時間で、いつも夕方のニュースの天気予報といえば18時50分くらいの、ニュースの終わりのほうでやるイメージがありましたが、今回は中央からのスポーツニュースの前にあり、その後ローカルのニュースが二つほどあり、ニュースが終了という、今まで何だか慣れ親しんでいた形から変わっていたので、それがいい、悪いではなく、意図的にやっているのかな、とも思いました。

確かに天気予報は全局同じような時間にやっていたので、時間を早めるのはメリットになるかもしれません。

これからも岩手の情報満載のニュースにしてください。

斎藤純委員のレポートです。

結論からいって、スーパーニュースに限らず、私はローカル局のニュースは物足りないと思っています。

この時間帯は民放各局がニュースをやっている、大変競争が激しいと思います。が、その割りにどの局も同じニュースを、ほぼ同じ順番に報じているような気がします。もちろん、ニュースの優先順位はそう変わらないと思いますが、結局、視聴者は番組を担当しているキャスター（アナウンサー）の好みでチャンネル選んでいるのではないのでしょうか。

私はこの時間はNHKを見ることはまずありません。NHKの「おぼんです岩手」は「お知らせ」番組で、報道番組とはいえないからです。

テレビ岩手の柴柳さんはニュースを報じた後、「もっと有権者の立場になってほしいものです」というような短いコメントを付け加えることがあります。私はそこに好感を持っています。ただ、これはベテランの柴柳さんだからできることで、一般的にはキャスター（アナウンサー）にそこまで望むのは無理かもしれません。

せっかく記者がいるのですから、たとえば談合に関する県の甘い処罰について、記者が辛口に解説するというようなことがもっとあっていいと思います。そのためには記者も勉強しなければならないのは当然ですが。

冒頭に「物足りない」と申しました。市政県政などに関するニュースが、ほぼ官報と化していることに対して、ときに苛立ちを覚えることもあります。行政の広報が記者クラブに流しているニュースをそのまま報じているのですから、まるで大本営発表です。夕方のテレビ・ニュースとて、ジャーナリズムであることをもう少し考えてもいいのではないのでしょうか。

役重委員のレポートです。

バスケの川村選手の躍動感あふれる話題から入って、若い世代の関心が高い子ども手当のわかりやすい説明、啄木の日記。そしてメインの雄星くんにじっくり時間をとり、目先変えてダイヤモンドパレスの破産、第一高等学院の話題、最後を『たんたんたん麺』しめくくり。一見して脈絡のない順構成だなという印象を受けましたが、もう一度見ると実は緩急のリズムがあって、考え抜かれたラインナップだったのかなとも思いました。

特に深刻なダイヤモンドパレスのニュースの後に第一高等学院の希望多き出発式はちょっと違和感もあり、冒頭のバスケの話題の後あたりでもよい気もしましたが、これはラストの『たんたんたん麺』につなげるには余りにも落差が…ということでワンクッションの役割だ

ったのかもしれませんがね。

ところで雄星くんですが、ゆかりのある東和町では、新聞にも報道になりましたが東和図書館で雄星コーナーをつくっています。そして隣には今話題の「龍馬」コーナーもあり、まさに彼のコメントした『日本を変える』いきおいの感じられる人気コーナーとなっています。読書好きという彼のキャラをよく生かしたインタビュー構成になっていたと思いますし、日本中の野球少年や若い人たちが本に親しむきっかけになるような、良い影響を期待できる好印象でした。これからも丁寧な報道番組づくりをよろしくお願いいたします。

レポートは以上です。

#### ○中村委員長

ありがとうございました。それでは、これで本日の議事を終了とさせていただきます。

#### ○事務局

中村委員長、ありがとうございました。それではこれで番組審議会を閉会とさせていただきます。

なお、今回の審議会の模様は5月22日（土）朝4時42分から「めんこいテレビ番審リポート」として放送いたします。

■次回は6月8日（火）に開催となりますので、よろしくお願い致します。

#### 7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

\* 平成22年5月12日(水) 産経新聞 東北版

<b>番組審議会</b>
岩手めんこいテレビ
岩手めんこいテレビの第192回番組審議会(中村慶久委員長)が11日行われ、「मितスパーニュース」(4月13日放送のロカル部分)を審議した。同番組は4月から、新キャスター登場など内容をリニューアルした。
委員からは「2軍で頑張る雄星投手の特集がよかった。地元ファンの心配が相当解消された」「子ども手当のニュースは制度の説明が丁寧だった」などの意見が出された。一方、「ニュースの背景をもっと掘り下げて報道すべきだ」「他局との違いを鮮明にするため

にも、キャスターに個性あふれるコメントがほしい」といった指摘もあった。

\* 平成22年5月22日(土) 午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ審りポート」内で放送

\* 据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし



# 視聴者からの問合せ等 対応一覧抜粋 2010年 3月分

番組・イベント名	対応日	内 容	対 応	類似件数
<b>[編成関係]</b>				
くちこみ大搜索	5	占い師の連絡先について	CX視聴者センターを紹介	2
牙狼	6	どうして第4話「晚餐」をカットされたんですか？	出演者の関係で現在は放送できない内容となっております	5
mitお天気インフォ	6	毎週夜8:55から放送している「mitお天気インフォ」で流れている曲名と歌手名を教えてください		5
もしもツアーズ	6	もしもツアーズはいつ放送していますか？	現在レギュラーでの放送はありません。	1
山・海・漬	17	アナウンサーが下手とのクレーム(4/17・4/24)	担当者に伝えます	2
山・海・漬	17	液晶テレビ当選の御礼	担当者に伝えます	2
高橋大輔 銅メダルへの軌跡 ～知られざる4年間の道～	18	岩手でも放送して欲しい	意見として聞く	2
娼婦と淑女	23	原作本について	東海テレビを案内	1
山・海・漬	24	アナウンサーが下手とのクレーム	意見として聞く	2
今からでも楽しめる！チームバチスタ2ジェネラル・ルージュの凱旋 救命×究明スペシャル	28	放送希望	放送予定はありません	1
知りたがり	29	GW生中継で、あっち行こうこっち行こうとばかり言わないで欲しい。GWに何処にも行けない人もいる	意見として聞く	1
阪神×巨人戦	30	解説者がうるさすぎる	関係部署に伝えます	1
<b>[報道関係]</b>				
新報道2001	10	出演者は他の出演者の話しを良く聞いてから発言せよ	関係部署に伝えます	1
FNNニュース	11	バンコク射殺事件を記者がニヤニヤして報道していた。不謹慎なのでカットすべき。配信元のライター通信の電話番号を知りたい	CX視聴者センターを案内	1
mitスーパーニュース	23	ニュースで紹介された4/24の「もうもうフェスティバル」は中止ではないのか？	報道部に対応願う	1
mitスーパーニュース	23	「もうもうフェスティバルは中止になりました」の訂正報道は悪い。間違ったときは「お詫びして訂正します」というべきだ。	報道部に伝えます	1
mitスーパーニュース	26	「巨大な半紙に筆で書いていた云々」と報じていたが、半紙は小さな紙なので「巨大な」は適切な表現	報道部に伝えます	1
<b>[その他]</b>				
宮川大輔×ケンドーコバヤシ トークショー『あんぎゃー』	9	ローソンチケットでは売り切れている。CMは流れているので購入は可能か？	平日にお掛け直し下さい	1
めんこいフリーマーケット	15	各種問い合わせ	資料にて回答	19
谷村新司コンサート	18	問い合わせ	平日にお掛け直し下さい	2
岩手湯巡りめんこいラリー	29	スタンプ5個でテレビが当たるということで、応募したが結果を知りたい	平日にお掛け直し下さい	1
<b>[再放送の要望等]</b>				
インディゴの夜	8	再放送を夜中にする事は出来ないのでしょうか？	意見として聞く	1
ラスト・フレンズ	30	「ラスト・フレンズ」の再放送をお願いします	意見として聞く	1

接触手段	電話	メール	FAX	郵送	その他	合計
受付件数	77	31	0	0	0	108